

公益財団法人日本美術刀剣保存協会 令和2年度事業報告及び決算報告

I 事業の実施状況

1. 博物館事業

(1) 展示事業

令和2年度刀剣博物館の展示活動及び入館者数は37ページ表1の通り。

(2) 鑑賞会事業

定例鑑賞会

定例鑑賞会及び日本刀鑑賞マナー講座は新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、今年度の開催は見合わせました。その他協力団体が公益事業として開催する鑑賞会に、依頼により鑑定刀の貸与及び講師の派遣を行いました。令和2年度は18件の依頼があり、刀剣類5点を貸与し、鑑賞の指導を講師(当協会学芸員)が行いました。協力団体開催の鑑賞会の平均出席者は22名でありました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、9月まで講師派遣は中止いたしました。

(3) 作品発表会(現代刀職展)

新作名刀展(作刀、刀身彫、彫金の職方の作品)及び刀剣研磨・外装技術発表会作品展(研磨、白鞘、刀装、柄前、白銀の職方の作品)を改組した二〇二〇年度現代刀職展を開催しました。この展示は、現代作家の作品発表の場の提供及び多くの方に技術の高さをアピールすることを目的としており、令和2年9月5日(土)～10月18日(日)までの開催期間で、二、九三六名のお客様にご来場いただきました。

(4) 古伝書等の公開

当協会収蔵の古伝書、一般刀剣関係書籍等を月曜日から金曜日の10時か

ら16時(12時～13時を除く。)まで事前予約制で一般の利用に供しました。入室、閲覧は無料とし、コピーサービス(有料)も提供しました。令和2年度は33件の利用がありました。

(5) 刀剣相談

当協会に来館、または書面、電話での刀剣等に関するあらゆる相談を受け付け、刀剣類の文化財としての位置づけを認識していただくとともに、刀剣類の手入れ方法や保存方法についても助言いたしました。また銃砲刀剣類所持等取締法に基づく所轄警察署への届出等、関係法令の周知徹底を図り、各都道府県教育委員会への登録申請の相談も受け登録業務に協力いたしました。

(6) 広報誌の発行

令和2年度は広報誌『刀剣美術』を759号から770号まで発行いたしました。当協会の編集委員及び編集担当職員が毎月編集委員会を開催して内容を検討し、投稿された刀剣関係の論文、随想、資料の紹介等の掲載の他、鑑賞会の報告及び当協会や刀剣界の情報発信源として、また刀剣類の知識の向上を目的として会員の皆様への配布のみならず、刀剣博物館においても一般に販売いたしました。

(7) ホームページ活用

『刀剣美術』誌と共に、当協会や刀剣界の情報発信源として活用しているほか、刀剣の知識が学べるようなページを構成しています。また、『刀剣美術』誌の記事の一部を英訳してホームページから見る事ができるようにし、海外の研究者、愛刀家等の要望にも応えています。引き続き会員の皆様をはじめとしたお客様に分かりやすい情報発信に努め、お客様とのコミュニケーションツールとして運用してまいります。

2. 教育、講習事業

(1) 第53回刀剣研磨・外装技術研修会

刀職者の技術の向上とその普及を目的とするこの研修会は、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで研修生を募集し、当協会講堂において令和2年6月25日(木)から6月30日(火)までの6日間開催いたしました。

研修部門は「研磨の部」鍛冶研ぎの部(前半3日間)及び外装の部として「白鞘の部」「柄前の部」「白銀の部」(後半3日間)であり、「研磨の部」は研師の無鑑査認定者の講師により、「下地研ぎ」を研修テーマとして実施し、特別研修生一名、聴講生四名の参加がありました。「鍛冶研ぎの部」は刀匠の無鑑査認定者の講師により「鍛冶研ぎの基礎技法」を研修テーマとして実施し、研修生一名、聴講生一名の参加がありました。「白鞘の部」は鞘師の講師により、「掻き入れの基礎技法」を研修テーマとして実施し、聴講生四名の参加がありました。「柄前の部」は柄巻師の無鑑査認定者の講師により「柄巻の基礎技法」を研修テーマとして実施し、研修生一名、聴講生一名の参加がありました。「白銀の部」は鍔師の無鑑査認定者の講師により、「火造りの基礎技法」を研修テーマとして実施し、研修生一名、聴講生五名の参加がありました。

また、3年間の研修修了者は、研磨の部の特別研修生一名、柄前の部の研修生一名がおり、修了証書を交付し、その他研修生、聴講生にそれぞれ研修証書、聴講証書を交付いたしました。

(2) 村下養成研修会

たたら操業の日程にあわせ「日刀保たたら」において、日刀保たたら村下を講師に村下後継者の養成を行いました。養成員一〇名の参加がありました。

3. コンクール事業

(1) 二〇二〇年度現代刀職展

現代作家の技術の向上及び普及を目的に、新作名刀展及び刀剣研磨・外装技術発表会を改組、新たに現代刀職展とした作刀の部、刀身彫の部、彫金の部、研磨の部及び外装の部として白鞘の部、刀装の部、柄前の部、

白銀の部の8部門について広報誌『刀剣美術』、協会ホームページ、博物館掲示板で公募し、作刀の部、刀身彫の部、彫金の部は令和2年4月1日(水)から3日(金)の間受け付け、令和2年7月8日(水)に審査会を開催し、また、研磨の部、白鞘の部、刀装の部、柄前の部及び白銀の部は令和2年6月1日(月)から3日(水)の間受け付けし、令和2年7月8日(水)に審査会を開催しました。無鑑査による出品は、作刀の部一点一点、彫金の部二点、研磨の部六点、柄前の部三点、白銀の部一点の合計二三点でありました。

令和2年9月28日(月)午後1時30分から第一ホテル両国5階清澄において表彰式を執り行い、入賞者に賞金、賞状及び副賞、入選者に入選証書をそれぞれ交付しました。また、各部門について審査員の代表が審査員講評を行いました。

展示は、令和2年9月5日(土)から10月18日(日)まで刀剣博物館にて行いました。全部門の受付点数、審査結果は38ページ表2の通り。

4. 検定・資料収集事業

(1) 刀剣類の保存・特別保存審査

5月、8月、10月と1月を除き、毎月保存刀剣及び特別保存刀剣等の審査を実施し、刀剣は6月からの3か月毎に、刀装・刀装具は4月、7月、11月及び2月に、該当月の指定した3日間で受け付けます。受付点数に応じた審査会を複数回設け、審査は理事会の決議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に審査を行い、合格したのものには鑑定書を発行しました。

なお、各審査月において継続的に多数の申請がある状況から、審査物件保全に万全を期すため、平成30年度よりそれまでの隔月から3か月毎の受付に変更しています。

今年度の受付点数、合格点数は次のとおりです。

区分 受付点数 合格点数

保 存 刀 剣 五九七二 四〇〇七

刀 装 二九四 一七六

刀 装 具 二六三四 一六一六

特別保存 刀 劍 三〇五六 二〇六〇

刀 装 一三三 八四

刀 装 具 八四五 六七一

(2) 刀剣類の重要・特別重要審査

第26回特別重要刀剣等審査は、4月13日(月)～15日(水)の3日間で受け付けいたしました。審査は理事会の議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に第1次及び第2次審査を行いました。また、6月27日(土)から8月2日(日)まで刀剣博物館において指定品の展示を行い、指定品の指定書及び指定品を纏めた図譜を頒布いたしました。

第66回重要刀剣等審査は11月16日(月)～18日(水)の3日間で受け付けいたしました。審査は理事会の議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に第1次及び第2次審査を行いました。指定品の指定書及び指定品を纏めた図譜を現在作成中です。

また、指定品の展示は令和3年2月27日(土)から4月11日(日)まで刀剣博物館において行いました。

受付点数、合格点数はそれぞれ次のとおりでした。

区 分	受付点数	合格点数
第26回特別重要	刀 劍 三六一	四一
	刀 装 一三三	四
	刀 装 具 三四	六
第66回重要	刀 劍 八〇一	一一八
	刀 装 五六一	六
	刀 装 具 二六〇	四五

(3) 資料収集

保存・特別保存・重要・特別重要各審査の合格物件すべての調書を作成し、写真もしくは押形と共に保管し、データベースで管理しました。また過去の合格物件も順次データ化を進めております。

また、全国の重要文化財等の保管施設に職員を派遣し、刀剣押形等の貴重な資料の収集を行い、収集した資料を刀剣美術にて公開しました。

5. 資格付与事業

(1) 無鑑査の選任

今年度末現在、無鑑査認定者は作刀の部が一七名、彫金の部が三名、研磨の部が一五名、外装の部が一〇名です。

(2) 伝位授与

伝位審議会を6月、9月、12月及び令和3年3月の4回開催し、初伝位二名、中伝位三名、奥伝位待遇二名の合計七名の合格を認めるとともに、理事会等の決定により、それぞれ伝位証書を授与しました。

(3) 刀剣等指導員・刀剣等指導補助員登録

刀剣等指導員規程による指導員登録の申請が三名より提出され、いずれも刀剣等指導員規程第2条の資格を有しているため証明書が発行されました。刀剣等指導員の資格要件に中伝位以上を授与された者と規定されていることから、伝位授与と連動して指導員として刀剣文化の普及に活躍する人材を育てることを目的としています。なお、今年度は刀剣等指導補助員の申請はありませんでした。

6. たたら製鉄事業

毎年三代実施しているたたら操業を今年度は新型コロナウイルス感染症拡大状況に鑑み、令和3年3月17日(水)から3月20日(土)まで一代実施しました。期間中は村下養成研修会とし、日刀保たたら村下を講師に村下後継者の養成を行いました。

これに先立ち、操業開始前の準備として数日前より釜土の混練や本床への火入れなどを行いました。炉床の状態を整え、本操業に臨み、伝統技術の保存・伝承に努めました。

操業自体は下準備から始まり、釜作り・三昼夜操業・釜壊しを1単位つまり一代と数え、釜作り以降の作業を行い、約2・5トンの鉬を生産しました。

また操業終了後からは、生産された鉬を破碎し翌年度以降の玉鋼配布準備のため各等級毎に選別する作業を行いました。

操業期間外では、日刀保たたら村下の指導のもと、ほぼ通年で以下の作業を行っています。①たたら炭の生産(約36トン)、②粘土の選別と確保、

③注文に応じての玉鋼発送作業、④その他適宜発生する業務。
さらに、生産された玉鋼について全国の刀匠に対し頒布の文書を郵送しました。

7. 刀剣文化振興の助成事業

当協会の協力団体は国内に80団体、海外に4団体設立されており、全国及び海外の刀剣普及活動の拠点となっています。

〈国内80団体〉

日刀保根室支部 日刀保帯広支部 日刀保札幌支部 日刀保旭川支部
日刀保青森県支部 日刀保八戸支部 日刀保岩手県支部
日刀保秋田県支部 日刀保羽後秋田支部 日刀保庄内支部
日刀保山形支部 日刀保米沢支部 宮城県美術刀剣保存協会
日刀保会津支部 日刀保福島県南支部 日刀保いわき支部
日刀保福島支部 新誠会 日刀保高崎支部 日刀保茨城県支部
日刀保茨城県西北支部 土浦亀城刀剣会 日刀保栃木県支部
埼玉県刀剣保存協議会 日刀保千葉葉東支部 日刀保千葉東支部
日刀保東京都支部 日刀保東京多摩支部 日刀保横浜支部
鎌倉刀剣会 日刀保湘南支部 日刀保山梨県支部
日刀保新潟支部 日刀保長岡支部 日刀保富山県支部
越前愛刀会 日刀保石川県支部 日刀保若狭支部
日刀保福井支部 日刀保長野県南支部 日刀保長野県北支部
日刀保長野県東信支部 日刀保静岡岡支部 日刀保静岡東支部
日刀保三河支部 日刀保名古屋支部 日刀保岐阜県支部
日刀保三重県支部 日刀保京都府支部 日刀保大阪支部
日刀保兵庫県支部 姫路しらさぎ刀剣会 日刀保奈良県支部
日刀保和歌山県支部 日刀保岡山県支部 日刀保山口県支部
広島県美術刀剣保存協会 日刀保島根県支部 日刀保鳥取県支部
日刀保香川県支部 日刀保四国讃岐支部 日刀保香川西支部
日刀保愛媛県支部 日刀保徳島県支部 日刀保高知県支部
日刀保北九州支部 日刀保八幡支部 日刀保博多支部
福岡美術刀剣振興会 福岡県文化財保存協会 日刀保筑後支部

日刀保熊本県支部 日刀保宮崎支部 日刀保延岡支部 日刀保長崎支部
日刀保佐賀県支部 葉隠刀友会 日刀保大分支部 日刀保大分県北支部
日刀保鹿児島県支部

〈海外4団体〉

ヨーロッパ支部 アメリカ支部 ロシア支部 イタリア支部
①協力団体で開催する鑑賞会へ講師の派遣及び鑑賞刀剣の貸与
②鑑賞会事業参照。

(2)協力団体で開催する鑑賞会へ鑑賞刀剣のみの貸与
令和2年度は六件。

(3)協力団体で主催する刀剣類の展示会の助成及び共催
今年度は以下の一件があった。

①山梨県支部「崇高なる造形―日本刀 名刀と名作から識る武士の美学」

II 管理部門

1. 会員の状況 38ページ表3の通り。

2. 職員に関する事項

職員数計二十八名 男子一八名 女子一〇名（前期末比一名減）
平均年齢 男子50歳 女子46歳

3. 役員会等に関する事項

(1) 令和2年度第1回理事会

日時 令和2年6月24日（水）午後1時30分から2時30分
議題 ①令和元年度事業報告及び決算（計算書類等及び財産目録）について
②定時評議員会の招集について

③常務理事の選定について

(2) 令和2年度定時評議員会

日時 令和2年7月13日（月）午後1時30分から2時15分
議題 ①令和元年度事業報告及び決算（計算書類等及び財産目録）について
②評議員の選任について

(3) 令和2年度理事会（定款第44条による理事会）

日時 令和2年10月2日(金)

議題 ①奥伝位待遇の授与について

(4) 令和2年度理事会(定款第44条による理事会)

日時 令和3年3月26日(金)

議題 ①令和3年度事業計画及び予算(資金調達及び設備投資の見込みを含む)について

②就業規則等の制定及び改正について

③令和3年度審査員の選任について

④現代刀職展運営委員会委員の選任について

⑤無鑑査の選任について

Ⅲ その他

(1) 外部文化団体からの出陳要請により協会所蔵文化財のほか、玉鋼、砂鉄や、たたら製鉄の工程などのパネルを貸与しました。また各文化団体からの要請により所蔵文化財等の画像を貸与しました。

(2) 刀剣博物館は海外からの来館者がさらに増加傾向にあり、また協会主催の研修会に参加希望も多く、そうしたニーズにできる限り柔軟に対応して各種事業に海外居住者への利用を促進しました。

(3) 当協会は昭和23年に東京国立博物館内において設立され、昭和43年2月に代々木の地に会館を建設して移転しました。約半世紀を経過し、建物の老朽化が激しく、東京都墨田区旧安田庭園内両国公会堂跡地への新築移転計画を進め、墨田区をはじめとする関係各所との協議・検討を経て、平成28年7月に工事中、平成29年8月に竣工、刀剣博物館は平成30年1月19日より開館し、公開承認施設としての運営に向け関係機関のご指導を得ながら、引き続き努力してまいります。
また、墨田区とは移転時から友好関係を構築し、合同企画の実施等連携強化を図っています。

令和2年度事業報告には、定款第11条に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しておりません。

令和3年6月

表1

展示名	期間	一般	会員	招待	学生	中学生以下	団体他	ぐるっとバス利用者	計(人)
日本刀の見方 パートⅢ 刃文	6. 2～ 6. 21※1	909	53	94	54	58	0	31	1,199
第26回特別重要刀剣等 新指定展	6. 27～ 8. 2	1,174	111	136	92	103	0	171	1,787
鈴木嘉定コレクション寄 贈品展	8. 8～ 8. 30	987	38	87	82	211	0	226	1,631
2020年度 現代刀職展—今に伝わる いにしへの技—	9. 5～ 10. 18	1,881	90	206	123	294	0	342	2,936
日本刀 オモテとウラの 世界	10. 24～ 12. 24	2,922	131	289	213	273	0	727	4,555
埋忠<UMETADA> 桃山刀剣界の雄	R3. 1. 9 ～2. 21	3,021	116	143	277	112	132	0	3,801
第66回重要刀剣等新指 定展	R3. 2. 2 7～3. 31 ※2	1,032	67	153	145	288	0	227	1,912
合計		11,926	606	1,108	986	1,339	132	1,724	17,821

(うち 外国人203人)

※1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府の休館要請に基づき、令和2年3月2日から6月1日まで休館。

※2 会期は令和3年4月11日まで。

表2

部 門	出品数	特賞	優秀賞	努力賞	入選
作 刀	36点	4点	4点	14点	14点
刀 身 彫	3点	1点	0点	2点	0点
彫 金	19点	1点	2点	8点	8点
研 磨	73点	8点	12点	11点	34点
白 鞘	6点	0点	2点	2点	2点
刀 装	3点	1点	1点	0点	1点
柄 前	14点	2点	4点	4点	4点
白 銀	9点	0点	3点	3点	3点
合 計	163点	17点	28点	44点	66点

研磨の部で8点落選となりました。

表3

会員種別	国 内					海 外		計
	普通会員	学生会員	維持会員	優遇会員	終身会員	普通会員	終身会員	
令和2年3月末日	3,640人	23人	4人	5人	57人	234人	14人	3,977人
昨年度との差	-194人	-3人	+1人	-2人	+1人	-8人	-3人	-208人

令和3年4月1日以降の新入会者は160名。今後も会員獲得に努めてまいります。

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当期末	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	241,515,809	170,648,006	70,867,803
未収金	89,604,342	44,609,248	44,995,094
前払費用	97,760,150	39,302,584	58,457,566
販売用書	24,710,190	21,911,713	2,798,477
製原材	91,249,003	86,360,182	4,888,821
品料	4,731,843	41,360	4,690,483
流動資産合計	549,571,337	362,873,093	186,698,244
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	955,523,352	976,146,158	△ 20,622,806
預金	556,026,307	556,026,307	0
刀剣及び小道具	793,250,000	793,250,000	0
基本財産合計	2,304,799,659	2,325,422,465	△ 20,622,806
(2) 特定資産			
退職給付引当金	77,863,858	66,109,517	11,754,341
減価償却引当金	119,476,655	119,476,655	0
刀剣学積立資産	4,863,763	4,863,763	0
新刀剣博物館建設積立資産	31,489,409	32,635,609	△ 1,146,200
資料購入資産	200,000,000	200,000,000	0
審査支援システム改修資産	0	34,989,900	△ 34,989,900
特定資産合計	433,693,685	458,075,444	△ 24,381,759
(3) その他固定資産			
建物	12,496,947	14,957,044	△ 2,460,097
構築物	494,922,163	547,443,361	△ 52,521,198
機械装置	97,861,062	102,643,520	△ 4,782,458
什器備品	7,368,683	8,529,805	△ 1,161,122
土地	36,292,219	43,900,617	△ 7,608,398
保土	300,000	300,000	0
刀剣及び小道具	70,000	70,000	0
研究用教材	167,647,824	165,747,824	1,900,000
絵画	15,367,000	15,367,000	0
図書及び押型	10,114,118	9,534,118	580,000
その他固定資産	8,960,000	8,960,000	0
その他固定資産合計	292,007	348,480	△ 56,473
固定資産合計	851,692,023	917,801,769	△ 66,109,746
資産合計	3,590,185,367	3,701,299,678	△ 111,114,311
資産合計	4,139,756,704	4,064,172,771	75,583,933
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	51,522,207	19,292,196	32,230,011
前払金	28,334,831	28,406,860	△ 72,029
賞与引当金	2,729,678	2,331,599	398,079
流動負債合計	8,884,112	8,421,912	462,200
流動負債合計	91,470,828	58,452,567	33,018,261
2. 固定負債			
退職給付引当金	77,863,858	66,109,517	11,754,341
固定負債合計	77,863,858	66,109,517	11,754,341
負債合計	169,334,686	124,562,084	44,772,602
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	757,462	990,949	△ 233,487
寄付金	91,184,404	99,210,720	△ 8,026,316
受贈固定資産	78,000,000	78,000,000	0
指定正味財産合計	169,941,866	178,201,669	△ 8,259,803
(うち基本財産への充当額)	(138,452,457)	(145,566,060)	(△ 7,113,603)
(うち特定資産への充当額)	(31,489,409)	(32,635,609)	(△ 1,146,200)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	3,800,480,152	3,761,409,018	39,071,134
(うち特定資産への充当額)	(2,166,347,202)	(2,179,856,405)	(△ 13,509,203)
(うち特定資産への充当額)	(324,340,418)	(359,330,318)	(△ 34,989,900)
正味財産合計	3,970,422,018	3,939,610,687	30,811,331
負債及び正味財産合計	4,139,756,704	4,064,172,771	75,583,933

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	39,483	39,272	211
基本財産利息収益	39,483	39,272	211
特定資産運用益	913,454	916,606	△ 3,152
特定資産受取利息	913,454	916,606	△ 3,152
受取会費及び入金	42,000,200	44,998,105	△ 2,997,905
会費及び入金	42,000,200	44,998,105	△ 2,997,905
事業収益	450,479,371	489,872,690	△ 39,393,319
刀剣博物館入館料収益	14,897,500	32,435,529	△ 17,538,029
保存刀剣等鑑定会受取会費	271,010,000	302,978,000	△ 31,968,000
重要刀剣等指定会受取会費	79,222,000	51,382,000	27,840,000
鑑賞会受取会費	416,000	2,983,400	△ 2,567,400
書籍売上高	4,955,031	12,954,759	△ 7,999,728
出版売上高	5,450,139	5,574,552	△ 124,413
広告料収益	13,051,500	12,095,120	956,380
伝位登録料収益	368,000	308,000	60,000
受取たら事業収益	61,109,201	69,161,330	△ 8,052,129
受取補助金等	5,408,487	4,979,850	428,637
受取国庫補助金	5,175,000	4,650,000	525,000
受取国庫補助金振替額	233,487	329,850	△ 96,363
受取寄付金	8,526,316	8,405,925	120,391
一般寄付金	500,000	350,000	150,000
受取寄付金振替額	8,026,316	8,055,925	△ 29,609
雑収	10,176,357	4,262,751	5,913,606
受取替利息	2,058	1,013	1,045
為替差益	3,200	24,119	△ 20,919
雑引当金戻入	10,171,099	4,237,619	5,933,480
諸賞与引当金戻入	8,421,912	8,199,651	222,261
賞与引当金戻入	8,421,912	8,199,651	222,261
経常収益計	525,965,580	561,674,850	△ 35,709,270
(2) 経常費用			
事業費用	460,703,866	513,335,356	△ 52,631,490
役員報酬	3,102,400	2,992,000	110,400
給料厚生費	139,781,319	142,341,577	△ 2,560,258
福利厚生費	23,411,769	22,455,087	956,682
旅費	15,158,877	20,391,153	△ 5,232,276
交通費	2,433,233	5,889,220	△ 3,455,987
通信費	10,676,321	11,413,954	△ 737,633
消耗品費	7,826,725	7,660,259	166,466
印刷製本料費	21,389,225	33,388,544	△ 11,999,319
光熱費	6,499,088	6,656,700	△ 157,612
修繕借料費	14,121,322	13,586,585	534,737
賃借料	17,902,172	18,739,925	△ 837,753
租税公課	28,200,920	26,628,500	1,572,420
助成料	5,719,600	5,570,800	148,800
支書簿仕入料	2,629,156	1,671,968	957,188
支玉材負担金	3,588,540	5,978,511	△ 2,389,971
支託費	3,672,188	21,467,554	△ 17,795,366
委告宣伝費	138,207	140,967	△ 2,760
広渉外費	44,030,551	55,445,056	△ 11,414,505
雑減価却費用	8,525,692	9,133,630	△ 607,938
退職給付費	677,392	1,243,814	△ 566,422
	1,247,059	2,146,028	△ 898,969
	86,724,986	91,115,095	△ 4,390,109
	13,247,124	7,278,429	5,968,695

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管 理 費	28,090,580	27,763,995	326,585
役員報酬	3,117,600	3,148,000	△ 30,400
給料	2,852,680	2,904,930	△ 52,250
福利厚生費	1,232,198	1,181,847	50,351
旅交運搬費	1,515,084	2,201,469	△ 686,385
通信品費	561,912	600,734	△ 38,822
消耗品費	680,585	666,110	14,475
光熱水繕料費	565,138	578,843	△ 13,705
修繕借入金料	1,227,941	1,181,442	46,499
賃借保険料	2,117,475	1,410,532	706,943
支払問担料	500,792	318,470	182,322
顧客負担金	6,429,500	6,049,000	380,500
支払外宣伝費	62,093	63,333	△ 1,240
渉外費	263,681	282,483	△ 18,802
雑費	138,743	264,757	△ 126,014
減価償却費	25,450	43,796	△ 18,346
退職給付費用	6,100,695	6,466,963	△ 366,268
会議費	697,217	383,075	314,142
会費	1,796	18,211	△ 16,415
経常費用計	488,794,446	541,099,351	△ 52,304,905
当期経常増減額	37,171,134	20,575,499	16,595,635
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	1,900,000	0	1,900,000
経常外収益計	1,900,000	0	1,900,000
(2) 経常外費用			
前期損益修正損	0	7,300,000	△ 7,300,000
経常外費用計	0	7,300,000	△ 7,300,000
当期経常外増減額	1,900,000	△ 7,300,000	9,200,000
当期一般正味財産増減額	39,071,134	13,275,499	25,795,635
一般正味財産期首残高	3,761,409,018	3,748,133,519	13,275,499
一般正味財産期末残高	3,800,480,152	3,761,409,018	39,071,134
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	9,890,000	△ 9,890,000
固定資産受贈益	0	2,000,000	△ 2,000,000
一般正味財産振替	△ 8,259,803	△ 8,385,775	125,972
当期指定正味財産増減額	△ 8,259,803	3,504,225	△ 11,764,028
指定正味財産期首残高	178,201,669	174,697,444	3,504,225
指定正味財産期末残高	169,941,866	178,201,669	△ 8,259,803
III 正味財産期末残高	3,970,422,018	3,939,610,687	30,811,331

財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金		運転資金として	3,317,473	
	普通預金	みずほ銀行 新宿新都心支店 他	運転資金として	230,323,559	
	郵便貯金	代々木郵便局振替口座	運転資金として	7,874,777	
	未収金		審査事業における審査料 他	89,604,342	
	前払金		刀剣審査システムの開発費用 他	97,760,150	
	販売用書籍	「入札鑑定同然帳」他	出版書籍の在庫である。	24,710,190	
	製品	島根県仁多郡奥出雲町	玉鋼の在庫である。	91,249,003	
原材料	島根県仁多郡奥出雲町	玉鋼の材料の在庫である。	4,731,843		
流 動 資 産 合 計				549,571,337	
(固定資産)	基本財産	建物	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産92% うち、管理目的の財源として使用する財産8%	955,523,352
		普通預金	三井住友信託銀行新宿支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	266,784,198
		定期預金	三井住友信託銀行新宿支店 他		289,242,109
		刀剣及び小道具	日本刀 他	公益目的保有財産であり、協会の事業の用に供している不可欠特定財産である。	793,250,000
	基 本 財 産 合 計				2,304,799,659

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
特定資産	退職給付引当資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店 定期預金みずほ銀行新宿新都心支店 他	職員17名に対する退職金の支払いに備えた積立資産である。 37,071,788 40,792,070	
	減価償却引当資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店	将来の固定資産への投資のための引当資産である。 12,989,532	
		定期預金三井住友信託銀行新宿支店	10,000,000	
		国債	96,487,123	
	刀剣学奨学積立資産	定期預金荘内銀行東京支店	4,863,763	
	新刀剣博物館建設資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店	刀剣博物館建設事業の寄付金である。 31,489,409	
	資料購入資産	東京東信用金庫両国支店	博物館での展示、鑑賞会、研究その他に活用する資料を取得するための資産である。 200,000,000	
特定資産合計			433,693,685	
その他の固定資産	建物	島根県仁多郡奥出雲町	(供用財産) うち、公益目的保有財産99.4% うち、管理目的の財源として使用する財産0.6% 12,496,947	
	建物付属設備	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産94% うち、管理目的の財源として使用する財産6% 494,922,163	
	構築物	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産92% うち、管理目的の財源として使用する財産8% 97,861,062	
	機械装置	島根県仁多郡奥出雲町 東京都墨田区横網1-12-9	公益目的保有財産である。 4,872,723 2,495,960	
	什器備品	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産92% 36,292,219	
	その他固定資産	東京都墨田区横網1-12-9	うち、管理目的の財源として使用する財産8% 292,007	
	土地	長野県上田市	300,000	
	保証金	(株)セコム	セキュリティシステム等の保証金として預けているものである。 70,000	
	刀剣及び小道具	東京都墨田区横網1-12-9 日本刀 他	公益目的保有財産である。 167,647,824	
	研修用教材	東京都墨田区横網1-12-9 刀剣及び小道具	公益目的保有財産である。 15,367,000	
	絵画	東京都墨田区横網1-12-9 日本画 他	公益目的保有財産である。 10,114,118	
	図書及び押型	東京都墨田区横網1-12-9 網屋押型 他	公益目的保有財産である。 8,960,000	
	その他固定資産合計			851,692,023
	固定資産合計			3,590,185,367
資産合計			4,139,756,704	

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金		当期消費税確定額 他	51,522,207
	前受金	個人会員 他	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する会費等である。	28,334,831
	預り金	職員他	社会保険料 他	2,729,678
	賞与引当金	職員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である。	8,884,112
流動負債合計				91,470,828
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員19名に対する退職金の支払いに備えたものである。	77,863,858
固定負債合計				77,863,858
負債合計				169,334,686
正味財産				3,970,422,018

監査報告書

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
会長 酒井 忠久 殿

令和3年7月1日

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
監事 田口 堯
公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
監事 大久保 洋吉

公益財団法人日本美術刀剣保存協会における令和2年4月1日から令和3年3月31日までの監査の方法及び結果について、次のとおり報告いたします

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事会などの会議に出席し、理事及び担当者からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告等及び会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、計算書類（貸借対照表・正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 1) 事業報告は、法令及び公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に従い、法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に違反する事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を正確に示しているものと認めます。

以上